

令和3年1月4日

新年のご挨拶

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会
専務理事 佐藤 四郎

新年明けましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

昨年を振り返ると、新型コロナウイルスの感染拡大が猛威を振るいその対策に日本経済が振り回された1年でありました。昨年2月に焼津グランドホテルで新年会を開いたのを最後に、その後は総会・理事会・技術委員会等を開くことが出来ず残念な1年となりました。在宅テレワークやオンラインによる会議等が世の主流となり、ウィズコロナ時代となっています。マスクの着用、手洗いの励行、三密を避けるよう注意して、友人との会食もカラオケもできずに過ごしています。ホテルや旅館等の観光業や居酒屋等の飲食業は多大な損失を計上しており、政府はGoToトラベルキャンペーンやGoToイートキャンペーンで経済活動の両立を図りました。しかしながら感染の拡大が進み、一時的に中止する事態になっています。冬場には第3波の感染拡大が起こり未だに終息が見えない状況です。そんなコロナ禍の1年でありました。



また、アメリカでは大統領選挙が有り民主党のバイデン候補が勝利しトランプ大統領が敗北しました。アメリカ大統領が変わることが世界のあらゆる分野で影響が大きいことは言うまでもないことです。バイデン候補はトランプ大統領が掲げた「アメリカ第一主義」の外交方針を転換し、国際協調を重視していく姿勢を鮮明にしました。またトランプ政権が離脱した温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」に復帰する考えも示しました。

日本でも菅総理が所信表明で、2050年までに温室効果ガスの排出を実質的にゼロとする脱炭素社会実現を宣言しました。その一段階として、2030年半ばまでにガソリン車の新車販売を禁止するという政府方針の報道がされました。「2050年カーボンニュートラル」に向けた自動車の電動化について想像以上のペースで進んでいます。日本の自動車は2030年半ばに向けて、歴史的な転換期を迎えることになります。

令和3年も事故が無く、安全な操業を目指して取り組むことをお願い申し上げます。

最後に皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げ新年のご挨拶と致します。